

あいさつでつなごう
地域のきずな

こんにちわ

冬の子どもフェスタ

姉妹都市：「福井県敦賀市」から「雪がやってくる」

～令和5年2月5日(日)壱分小学校運動場：午前中～

雪不足やコロナ禍のため、中断していた「冬の子どもフェスタ」を本年度は、上記の通り実施します。

雪の調達地をどこにするか未確定でしたが、今回姉妹都市「敦賀市」の全面的な協力を得て、やっと実施できるようになりました。敦賀市に感謝・感謝……。

但し、コロナやインフルエンザの発生・感染状況及び雪不足等の際には中止する場合があります。

詳しい内容や時程等につきましては、後日お子様を通じて連絡します。



大きな「いも」ができたよ

壱分町東子ども会が、去る10月29日(土)、5月に植えたさつまいも掘りを実施しました。

植えてから、近畿大学の学生さんにお世話いただいていたさつまいもは、イノシシの害に遭うこともなくすくすくと育っていました。

まずは、つるを切って、そして、いもほり。どこにいもが育っているのかわからず、大きないもにきずをつけるなど悪戦苦闘!

最後に、植えるときに持ち込んだ「生ごみ」。どうなっているのか興味津々、掘り起こしてみると、卵のからが少し残っていただけ。みんな腐葉土(?)になっていました。体験を通して環境を考える貴重な学習となりました。



毎日の「あいさつ」は‘防災訓練’！

コロナ感染が「第八波」に入っていると伝えられる中、11月5日（土）参加者を絞って恒例の総合防災訓練を壱分小学校体育館で開催しました。

当日は、過去6回の体験を主とした訓練を総括し今後の総合防災訓練のあり方を考える目的で実施しました。

その為、先ず「北淡震災記念公園」語り部事務局から、「米山正幸」さんをお招きし、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災の体験者として、日頃の防災意識の大切さを話されました。中でも、米山さんの地域で安否確認がその日の夕方までにできたのは、「地域住民のつながりが大きかった……」とのお話はやまびこネットワークが目指すあいさつ運動に直結する内容として大変参考になりました。

最後は、昨年度実施した生駒市総合防災訓練のまとめとして、壱分小学校避難所開設訓練の内容を報告していただき、それを受けて米山さんから、『‘防災’は難しいが‘減災’はきっとできる、そして、自分の命は自分で守る……』とまとめていただきました。



「神戸市自治会連絡協議会」と交流会

去る10月17日（月）神戸市自治会連絡協議会の役員・事務局員の方々6名がお越しになり、やまびこネットワークと交流会を開催しました。

当日は、神戸市自治会連絡協議会が「あいさつ・声かけ運動でまちの絆を取り戻す」～ポスト・コロナのまちづくりは‘あいさつ・声かけ’から～の取り組みを進めるにあたって、やまびこネットワークのあいさつ運動を参考にしたいとの目的で来られました。

先ず、事務局からやまびこネットワーク設立の経過と全般的な内容を報告し、次に、毎日地域（現場）で活動して下さっている方から実状を報告していただきました。

神戸市自治会連絡協議会からは、阪神淡路大震災から学んだ教訓を生々しく語っていただきました。今後、防災訓練を実施するにあたって大変参考になる貴重な内容でした。

共に、「あいさつ」を基軸にまちづくりを目指すものとして、今後も互いに学び合いながら活動を推進していきたいと思います。

